

開講年次・時期	1年後期	授業回数	30回	時間数	60時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	生活支援技術Ⅰc	担当者名	三國 美香
授業の概要	尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。				
科目の到達目標	自立に向けた入浴・清潔保持の介護と自立に向けた排泄の介護、休息・睡眠の介護について、対象者の能力を活用・発揮し、自立を支援するための生活支援技術の基本を習得する。また、実践の根拠について、説明できる能力を身につける。				
DPの観点	⑥専門知識・技能(30)、⑧実践力(30)、⑨主体性(40)				
授業時間外学修(予習・復習)	講義予定部分のテキストを読む(予習)・毎回の講義で行われた技術の復習を行う。予習・復習についてはそれぞれ2時間の学習をすること。				
フィードバックの方法	リアクションペーパー				
単位認定の要件	毎回の講義態度と積極性等をもとに習得状況を確認する。講義時実技確認テストを行い、到達度を評価する。				
評価の方法・割合(%)	授業内活動40% 実技確認テスト40% 実践力20%				
履修上の注意事項	介護実習に関連性のある講義・実技のため毎回身だしなみの確認を行う。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			入浴・清潔保持の意義と目的	⑤、⑦	リアクションペーパー
2			入浴・清潔保持におけるアセスメント	②	リアクションペーパー
3			入浴の介助1(個浴)	⑤、⑦	リアクションペーパー
4			入浴の介助2(機械浴)	⑤、⑦	リアクションペーパー
5			入浴の介助3(リフト浴、シャワー浴)	⑤、⑦	リアクションペーパー
6			清潔保持の介助(全身清拭)	⑤、⑦	リアクションペーパー
7			清潔保持の介助(部分清拭)	⑤、⑦	リアクションペーパー
8			足浴、清潔保持のための道具・用具	②	リアクションペーパー
9			入浴・清潔保持の介護における他職種との連携	②	リアクションペーパー
10			入浴時の変化と多職種連携	②	リアクションペーパー
11			入浴に関する介護技術	⑤、⑦	リアクションペーパー
12			排泄の意義と目的	②	リアクションペーパー
13			排泄方法の選択と介助	②	リアクションペーパー
14			排泄ケアに関する支援1(ポータブル)	⑤、⑦	リアクションペーパー
15			排泄ケアに関する支援2(オムツ)	⑤、⑦	リアクションペーパー
16			排泄ケアに関する支援3(陰部洗浄、清拭)	⑤、⑦	リアクションペーパー
17			排泄ケアに関する支援4(立位・排泄用具の使用)	⑤、⑦	リアクションペーパー
18			その他の排泄に関するさまざまな介助	②、⑤	リアクションペーパー
19			頻尿、尿失禁、便秘、下痢、便失禁への対応	②、⑤	リアクションペーパー
20			排泄の介助における他職種との連携	②	リアクションペーパー
21			排泄に関する介護技術	⑤、⑦	リアクションペーパー
22			休息・睡眠の意義と目的	⑤、⑦	リアクションペーパー
23			安眠の介助の基本的理解	②	リアクションペーパー
24			睡眠障害とその支援	②	リアクションペーパー
25			ベッドメイキング1(1人の場合)	⑤、⑦	リアクションペーパー
26			ベッドメイキング2(利用者が寝たまの介助)	⑤、⑦	リアクションペーパー
27			寝具交換(カバー類)	⑤、⑦	リアクションペーパー
28			特殊寝台と付属用具を使用した介助	⑤、⑦	リアクションペーパー
29			休息・睡眠における他職種との連携	⑤、⑦	リアクションペーパー
30			休息・睡眠に関する介護技術	⑤、⑦	リアクションペーパー
期末試験			各項目毎に実技の確認テストを行う		

使用テキスト	『新・介護福祉士養成講座』第7巻「生活支援技術Ⅱ」(中央法規出版) 発行: 荘村明彦 編集: 介護福祉士養成講座編集委員会
参考文献 参考URL	『イラストで理解する初めての介護-心と技術』川島みどり編集(中央法規出版)他
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--